
中途半端サーセン

明日香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

中途半端サーセン

【Nコード】

N7254N

【作者名】

明日香

【あらすじ】

お久しぶりです！なんか・・・かつこいい太子を書きたかったただそれだけです（´・ω・｀）

(前書き)

ちゅーい!!!!!!

中途半端ったら中途半端!

ていうか途中だったりするWW

スランプ中作品!

書き方を変えてみた(今回限りですが)

意味わかんねWW

ok?

『日出ずる処の天子
書を日没する処の天子に致す
つつがなきや……』

これは聖徳太子が隋の王、煬帝に向けて送ったと言われる国書の書き出しだ。この書を読みると、この書はまるで隋に喧嘩をうっているように思われる。
こんな無礼な書を送るのはあいつは本物の馬鹿か、妹子はそう思っていた。

しかしこの書は……

太子が煬帝に向けた

挑戦状なのである――。

その時の太子は、いつも青ジャージのなめられ摂政の気を微塵たりとも感じさせない気迫があり、また、口元には普段浮かべたことのない余裕げな笑みが浮かんでいた。
美しく、儚げなその姿は、太子と一番親しい妹子でさえ始めてみる姿だった。

・ ・ ・ ・ ・ なんか大人っぽく書いてみたかっただけww

中途半端センサーズ

（後書き）

こ、こんな駄作でスミマセンでした!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7254n/>

中途半端サーセン

2010年10月20日19時45分発行